

2022年1月13日

輸送動向について（2021年12月分）

1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷から緩やかな回復傾向にあり、ほぼ前年並みとなった。

積合せ貨物は、3月および10月からのブロックトレイン運転開始等により前年を上回ったほか、紙・パルプは、1月の洋紙値上げ前の駆け込み需要等により増送となった。

一方、エコ関連物資は、建設発生土の輸送が7月半ばに終了したため前年を下回った。自動車部品は、引き続き前年を下回っているものの、半導体不足および東南アジアからの部品調達困難の緩和により自動車各社の生産調整は解消されつつあり、回復基調となっている。コンテナ全体では、前年比99.3%となった。

車扱は、石油が原油相場の騰勢に伴う価格上昇により需要が低迷し、中でも灯油は上旬に気温が高く推移したため低調となった。一方、セメント・石灰石等は前年を上回った。車扱全体では、前年比101.0%となった。

コンテナ、車扱の合計では、前年比99.9%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,672	1,684	99.3%	13,981	14,166	98.7%
車 扱	911	902	101.0%	5,792	5,799	99.9%
合 計	2,583	2,586	99.9%	19,773	19,965	99.0%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	155	162	-7	95.6%
	化学工業品	139	135	4	102.5%
	化学薬品	109	107	2	101.6%
	食料工業品	275	278	-3	98.9%
	紙・パルプ	198	186	12	106.3%
	他工業品	119	123	-4	96.7%
	積合せ貨物	284	270	14	105.2%
	自動車部品	57	67	-10	85.3%
	家電・情報機器	28	29	-1	96.7%
	エコ関連物資	40	51	-11	77.5%
	その他	268	275	-7	97.5%
	コンテナ計	1,672	1,684	-12	99.3%
車 扱	石油	654	662	-8	98.9%
	セメント・石灰石	121	113	8	107.0%
	車 両	91	87	4	105.6%
	その他	44	41	3	108.6%
	車 扱 計	911	902	9	101.0%
合 計		2,583	2,586	-3	99.9%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)